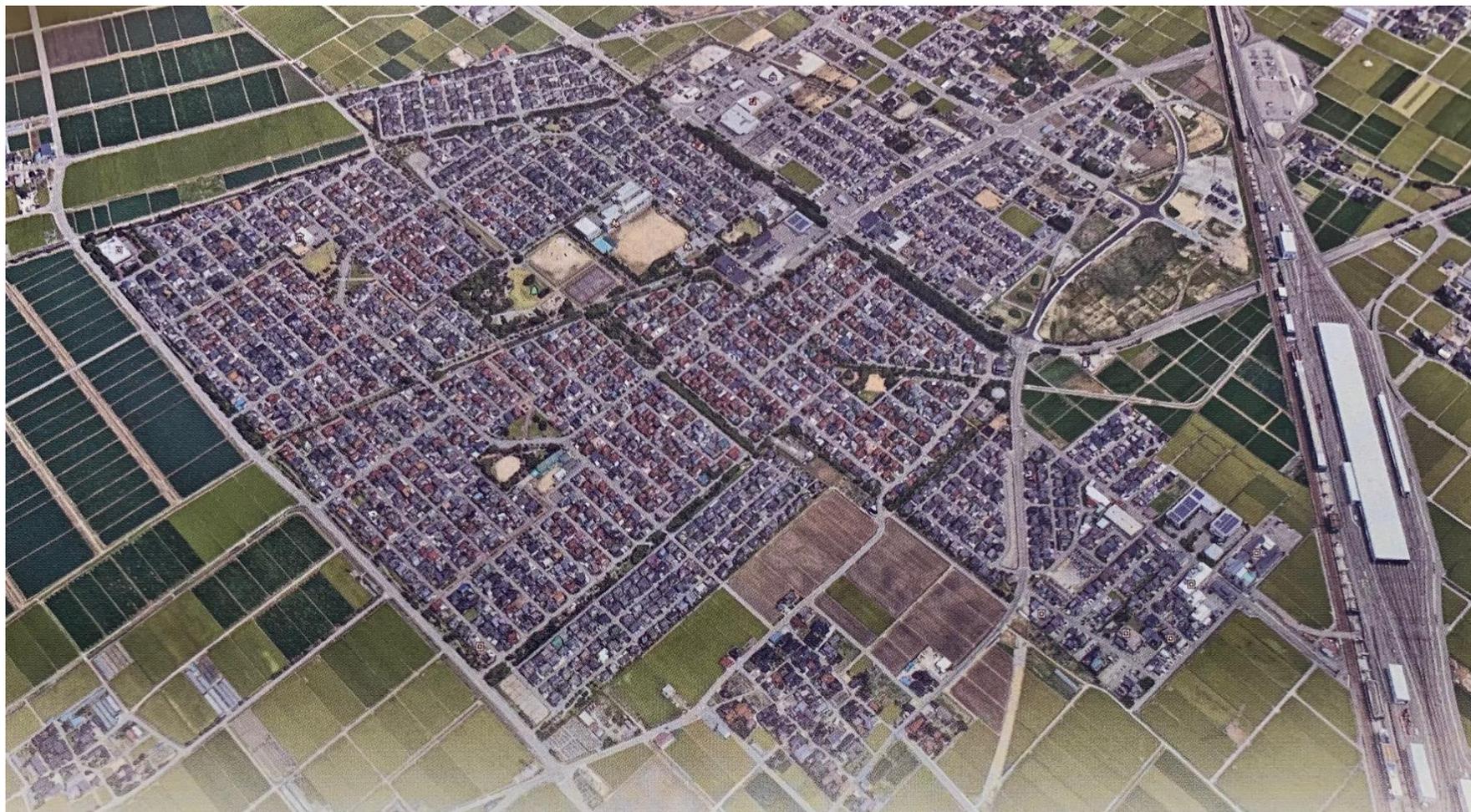


## 住みやすいまち、住み続けたくなるまち





## 千代野地区の概況

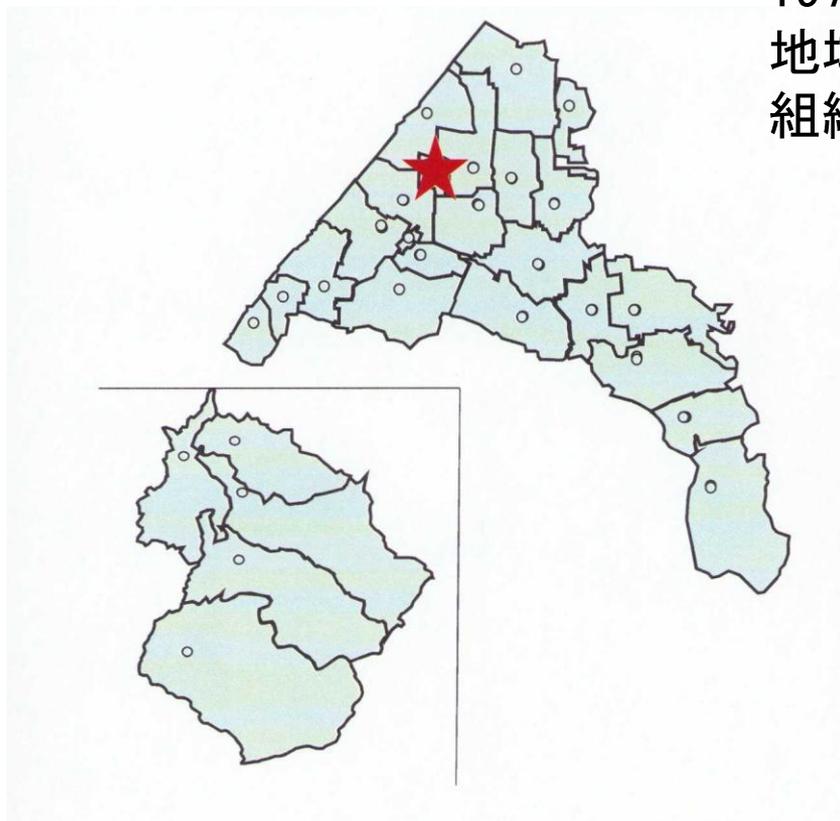
1978年にオープンした住宅団地

地域コミュニティ組織の設立：R2年10月

組織形態：20団体で構成

プロジェクト型

防災・環境美化・ブランディング



(令和6年11月末現在)

人口	5,327人
世帯数	2,282世帯
高齢化率 (65歳以上)	44.1%
人口増減数 (H17と比較)	-18.4%
集落数	16





## 事例① 個別避難計画の作成

### 1. 個別避難計画とは

災害時の避難に支援が必要な方、一人一人について、支援する人、支援の方法、配慮が必要な事項などを記載する個別の避難計画。計画を避難支援者等と共有し、スムーズな避難につなげるもの。

### 2. 経緯

令和3年5月の災害対策基本法改正により個別避難計画の作成が市町村の努力義務になったことを受けて、避難行動要支援者名簿がしっかり活用できるように、また防災だけでなく、見守り等の福祉にもつなげるために個別避難計画を作成しようということになった。

## 個別避難計画とは







## 事例① 個別避難計画の作成

### 作成の進め方

#### <R4年度>

1. 民生委員の協力により名簿登録者の支援内容を聞き取り  
→「声かけ」「同行」「介添え」を希望した方を個別避難計画の作成対象と決定

#### <R5年度>

1. 町内会長向け説明会の実施
2. 回覧板にて全世帯に取り組み内容を周知
3. 対象者に通知文、様式を郵送(白山市長寿介護課)
4. 町内会長・班長等が対象者宅を訪問し、避難支援者のマッチング
5. 作成した個別避難計画は本人・支援者・町内会で保管

#### <R6年度以降>

1. 毎年、民生委員実態調査時に支援内容を聞き取り  
「声かけ」「同行」「介添え」を希望した方で昨年度の未作成者について作成、また変更のある方については更新



## 事例① 個別避難計画の作成

## 作成結果

令和5年度

町内会	対象世帯数	対象者数	回収世帯数	回収対象者数	支援者決定世帯数	支援者決定世帯率
東1	15	18	14	18	0	0
東2	10	15	10	15	1	10
東3	13	18	11	15	5	38
東4	9	10	9	10	9	100
東5	8	9	7	8	4	50
東6	16	24	15	23	15	94
西1	7	8	5	6	5	71
西2	3	3	3	3	3	100
西3	10	12	10	11	10	100
西4	10	12	10	12	10	100
西5	14	18	13	16	13	93
西6	7	8	3	3	0	0
西7	15	18	15	18	15	100
西8	6	6	6	6	3	50
南1	2	3	2	3	2	100
南2	7	9	7	9	7	100
計	152	191	140	176	102	
回収率(%)			92.1			
決定率(%)					67.1	



## 事例① 個別避難計画の作成

## 課題

1. 支援者決定世帯率が地区全体で67%であり、町内会によっては、50%を下回る。(4町内会)
2. 支援者を決定したが、単にその年度の班長としている町内会もあり、実効性に乏しいかもしれない。(2町内会)
3. 独自で実施している町内会もあり、対象者が一致していないため、紛らわしい状況になっている。
4. 支援内容で「声かけ」や「同行」については、概ね問題はないが、「介添え」については、車椅子やリヤカー等の機材が必要であり、無い場合は、実際の支援は困難である。
5. 今年の震災の際の状況をみると、要支援者からは期待されるが、支援者は「とてもそんな責任を持ってない」という声がある。



## 事例① 個別避難計画の作成

### 令和6年能登半島地震の際の状況

#### 〈千代野地区の状況〉

- ・千代野コミュニティセンター本館、別館は16時30分に開錠。
- ・本館：約100名（館内70名、駐車場内の車待機30名）避難  
公共交通機関運休による帰宅困難者等4名宿泊
- ・別館：約30名避難
- ・千代野小学校：約130名避難（ガラスを割り、シャッターをこじ開け侵入）  
屋上の鍵を探すため職員室に立ち入る
- ・地区外の山手方向へ車で避難する人多数（車も渋滞）

#### 〈個別避難計画の運用状況〉

- ・しっかり運用できたのは3町内会ほど。
- ・元旦であり、不在の支援者が多かったことや防災行政無線やテレビの津波に対する避難の呼びかけに慌てて避難する支援者もかなりいたと思われる。
- ・十分な検証はできていない。



## 事例① 個別避難計画の作成

## 作成(更新)結果

令和6年度

町内会	対象世帯数	対象者数	回収世帯数	回収対象者数	支援者決定世帯数	支援者決定世帯率
東1	11	13	11	13	11	100
東2	10	14	10	14	10	100
東3	13	18	13	18	13	100
東4	7	7	7	7	7	100
東5	6	8	5	7	3	50
東6	17	25	17	25	15	88
西1	7	8	7	8	5	71
西2	4	4	3	3	3	75
西3	7	8	6	7	6	86
西4	8	10	8	10	8	100
西5	13	15	13	15	13	100
西6	7	9	7	9	1	14
西7	15	17	15	17	15	100
西8	6	6	5	5	5	83
南1	2	3	2	3	2	100
南2	7	7	7	7	7	100
計	140	172	136	168	124	
回収率(%)			97.1	97.7		
決定率(%)					88.6	



## 事例② 金城大学との連携

### 1. 概要

(1)実施主体 金城大学公衆衛生看護学専攻科

(2)実施内容 地域看護診断・演習「白山市千代野地区の実際」

(3)演習目的 地域を概観するための地区視診計画の立案、実施等を通して、住民の健康状態に関するデータ収集およびアセスメントを行い、地域の健康課題を特定、実際の保健活動計画を策定する過程を学修する。

### (4)目標

- ①住民、地域と触れ合いを楽しみ、興味関心を持って地区に身を置く。
- ②コミュニケーションスキルの向上等の社会人としてのマナーを身につける。
- ③情報収集・分析方法の検討と実践。
- ④保健活動の企画から実施までを経験することによる創造力、企画力向上。
- ⑤地域の看護職者としてのやりがい、責務を考察し、自分自身の看護観を見つめる。

(5)実施年度 令和4年度～



## 事例② 金城大学との連携

演習結果（活動結果）

年度	参加学生数	保健活動計画案	概要
R4	7人	介護予防を目的とした健康講座を実施する。	<p>&lt;ストレッチ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹筋力維持による歩行機能低下予防</li> <li>・関節可動域維持</li> <li>・筋力維持による転倒予防</li> </ul> <p>&lt;脳トレ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じもの探し、なぞかけクイズ、迷路、ひらがな計算、まちがい探し</li> </ul>
R5	9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭における健康コーナー開設</li> <li>・千代野地区健康動画作成</li> <li>・千代野地区PR動画作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧・足趾力測定コーナー、住民わくわくインタビュー</li> <li>・インタビュー動画（運動習慣、食事）</li> <li>・定住人口増を図るためのPR動画</li> </ul>
R6	6人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちよの防災マップ作成</li> <li>・防災ゲームの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の避難経路を記入する防災マップと防災備蓄品リストを全戸配布</li> <li>・文化祭における防災ゲームの実施</li> </ul>

## 事例② 金城大学との連携

令和4年度



中間報告会



ストレッチ

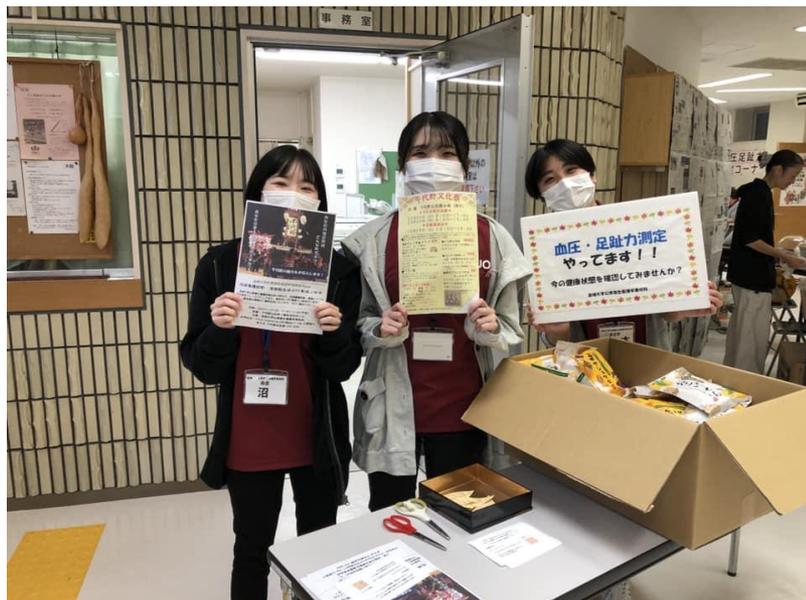


脳トレ

## 事例② 金城大学との連携

令和5年度

〈血圧足趾力測定コーナー・住民わくわくインタビュー〉



血圧足趾力測定  
コーナーPR



血圧足趾力測定コーナー

## 事例② 金城大学との連携

令和6年度

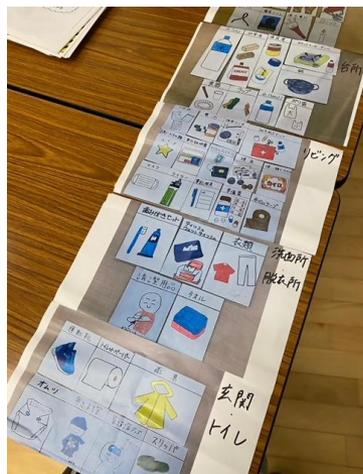
〈防災ゲームの実施〉



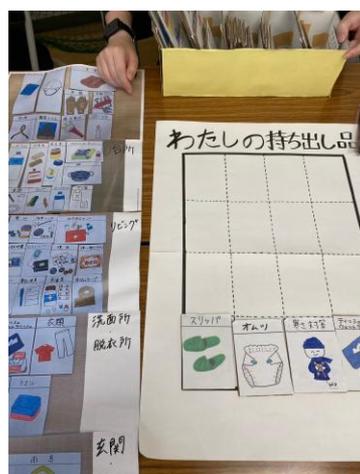
防災ゲームコーナー



防災ゲームに挑戦中



防災ゲーム



防災ゲームに挑戦中



## 事例② 金城大学との連携

令和6年度

### 〈防災マップの作成〉

### 確かめよう！備えよう！ちよの防災マップ

チェックしてみよう！災害時の備え

- ・ 飲料水(1人あたり3L×家族の人数×7日分) ・ 手回し式小型携帯ラジオ
- ・ 手回し式懐中電灯 ・ 非常食 ・ 救急薬品 ・ タオル ・ ひも ・ 着替え
- ・ ライター、マッチ ・ ビニール袋 ・ モバイルバッテリー(携帯充電器)

保健師学生のオススメ！災害時の備え

○ 物品の備え

- ・ 手帳類(母子手帳、お薬手帳、障がい者手帳) → 必要な支援が受けられる
- ・ 歯みがきセット、マウスウォッシュ → 感染症や誤えん性肺炎の予防
- ・ 清潔用品(ボディスーツ、ドライシャンプー) → 清潔を保ち、感染症を予防
- ・ 暑さ対策グッズ(冷却シートなど) → 熱中症の予防
- ・ 寒さ対策グッズ(カイロ、非常用アルミ毛布) → 低体温症の予防
- ・ 衛生用品(簡易トイレ 5~7 個) → 衛生環境の確保と、感染症の予防
- ・ 上履き、下足(外靴)袋 → トイレ等で付着した汚物による集団感染を予防
- ・ 普段飲んでいる薬 → 持病の悪化予防

○ 知識の備え

- ・ 災害時は心にストレスがたまりがちです。備える物品は使い慣れた物を準備しておく、ストレスを和らげる効果が期待されます。また、人と話をすることや、深呼吸(腹式)をすることも効果的です。
- ・ 避難所で長時間同じ姿勢でいることで、エコノミークラス症候群になるリスクが高くなります。こまめに水分をとったり、適度に体を動かしたりするようにしましょう。

考えてみよう！私に必要なアイテム？ 千代野地区防災委員会委員長より

災害時にはご自身やご家族の命を守ることが一番です。避難施設に行くことが目的ではありません。安全であれば、無事を知らせ、ご自宅から離れる必要はなく、落ち着いて行動しましょう。家具転倒対策や上下水道損壊時の備え、停電やガス停止などの備えなど、ご自宅での防災力アップを図りましょう。

子ども用は何を用意しようかなー  
アレルギーマスク対応食品を入れようか

詳細はこちら  
→千代野地区の防災(YouTube)  
金城大学公衆衛生看護学専攻科(令和6年11月作成)

表面

私の避難経路を書いてみよう！

緊急連絡先	一次避難場所(町内会指定)(黒い四角)
①	①千代野第4号公園(てんとう虫公園):西6・7・8
	②千代野第3号公園(ひまわり公園):西1・2・3
	③集会所南側公園:西4
	④千代野中央公園:西5
	⑤千代野小学校ビロテイ:東4
②	⑥千代野第5号公園(三角公園):東6
	⑦千代野第1号公園(おまつり広場):東3・5
	⑧千代野第2号公園(あさがお公園):東1・2
	⑨千代野第6号公園(みどり公園):南1
③	⑩千代野第7号公園(あじさい):南2

二次避難施設(市指定)(赤い丸)
①千代野コミュニティセンター/ 千代野児童センター:西3・5・6・7・8
②千代野保育所:西2
③千代野小学校:東4・5・6
④千代野体育館:東2、西1・4、南1・2
⑤千代野会館:東1・3

裏面



## 事例② 金城大学との連携

令和6年度

### 効 果

1. 毎年、公衆衛生看護学専攻科の学生が地区を調査し、その結果を報告してくれるので、住民自身が把握していない地区の特徴や課題に気づくことができる。
2. 高齢化が急激に進む千代野地区において住民の健康に対する関心は非常に高く、毎年、専攻科学生が千代野地区における保健活動計画を策定し、実践してくれることは住民の健康増進につながる。
3. 令和6年度は能登半島地震の際の避難行動を教訓として、タイミングよく防災をテーマとして住民の安全安心の確保に資する取組をしていただいた。
4. 千代野文化祭でのイベント実施については、高齢者主体になりがちなイベントに若者のエネルギーを注入してもらい、文化祭を盛り上げるのに貢献している。
5. 学生の調査、報告会、イベント実施を通じて地域住民との交流が図られ、若者世代に対する理解増進、人間関係の広がり、地域共生意識の向上等につながる。



ご清聴ありがとうございました

